

2021年度 放課後等デイサービス自己評価票アンケート結果に基づく自己評価

1. 概要

2022年1月21日から2月8日にかけて、保護者および事業所職員に対して標記のアンケートを実施しました。回収は返信用封筒を用いて無記名での回答を求めました。その結果、保護者向けアンケートでは利用者21名（長期利用休止中の1名を除く）中19名からの回答があり、18項目中8項目で複数の保護者から「どちらともいえない」または「いいえ」との回答がありました。また事業者向けアンケートは5名の職員全員（常勤4名、非常勤1名）に実施し、集計結果に基づき検討した結果、43項目中で保護者アンケートで改善の必要が認められた4項目に加え、3項目について重点的に改善が必要との結論になりました。

これらの結果を踏まえ、当事業所における課題および改善目標をとりまとめましたので、その結果を公表します。

2. 保護者アンケート

(1) 改善の必要がある項目に関する現状および改善目標（丸数字は質問番号）

※項目末尾の括弧内の数字は、順番に「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の回答数。

⑩ 保護者同士の連携の支援（16,2,0,未回答1）

⑪ 苦情対応の体制整備および周知（14,5,0）

⑫ 子ども・保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている（17,2,0）

【現状】

⑩について、2021年度はこれまで通り年に1回の保護者会を開催した。ネット上で保護者コミュニティを作ることも検討課題としているが、実現していない。父母の会はない。苦情対応については昨年と体制は変わらず、実際に苦情は寄せられていない。

【改善目標】

これらの項目は、去年は全員から「はい」との回答を得ていたが、今年は評価が下がっている。保護者がどのような形で保護者同士の連携や情報伝達のための配慮を求めているのか、アンケート等で意見を求め、その結果を踏まえて対応を検討する。苦情対応については契約時に説明を行っているが、改めて体制を保護者に周知する。

⑯ 非常災害の発生に備えた訓練 (16,3,0)

【現状】

2021年度はプレイルームの内装をリニューアルして備品の配置が変わったため、大地震発生時の待避場所を再確認した上で訓練を実施する。地震・大雨の際の帰宅の方法については「災害時帰宅カード」の提出を求め、対応方法を保護者と確認している。

【改善目標】

訓練が年度末の1回に留まっているため、最低でも半年に1度の訓練を行うと同時に、訓練の内容や実施時の様子などを保護者に周知する。また新規利用者に対しては契約時に保護者に、利用開始時には利用児童に対して非常時の対応について説明する。

⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか (16,3,0)

【現状】

特に思春期以降の利用者や家庭で保護者と過ごしたい気持ちの強い利用者にとっては、通所が「楽しい」と言い切れないこともあると思われ、そうした状況を保護者と共有できているケースも複数ある。

【改善目標】

放課後等デイサービスは、子どもが楽しく過ごすことだけを目的とするものではない。現状からも、この結果が直ちに改善が必要な状況を示すとは言い切れないが、利用者一人ひとりの興味関心に応じて、来所時に意欲をもって取り組める活動を工夫していくことが常に必要である。

(2) 複数の保護者から「どちらともいえない」もしくは「いいえ」の回答が

あったが、改善目標を立てる必要がないと判断した項目およびその理由

① 活動スペースの十分な確保 (13,6,0)

運動をするのは難しいが、通常の屋内活動には十分なスペースは確保している。利用者が多く、個別のニーズが分散した場合（ごっこ遊びをしたい、パソコンをやりたい、静かな場所で宿題をやりたい、1人で過ごしたい等）は全員が満足できる活動スペースを確保できないこともあるが、建物自体の広さや間取りの制約があるため、現状で改善目標を立てるべき項目とは考えていない。

⑤ バリアフリー化の配慮 (7,10,2)

当事業所は、エレベーターがなく2階にトイレがある戸建て物件であり、身体機能に配慮したバリアフリー化は難しい。当事業所では主に対人コミュニケーション等の社会性の向上をねらいとした支援を行っており、トイレが2階にあることによる問題は生じていないため、現状のままで差し支えないと考える。

⑥ 児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会 (2,12,5)

当事業所の利用者の多くは通常学級に在籍しており、支援学級在籍の利用者も交流授業で障害のない子どもと活動する機会は確保されている。これまでこうした交流を求める要望が保護者から出されたことはなく、当事業所においてはこうした機会を作る必要はないと考えている。

3. 事業者向けアンケート

(1) 総論

「どちらともいえない」と回答された多くの項目において、回答の趣旨を確認したところ「現状を知らない」もしくは「質問の意味（用語）を正しく理解していない」ため「どちらともいえない」と回答したことが分かった。特に入職後間もないスタッフ、非常勤のスタッフにこうした傾向が見られた。そのため、2022年度は自己評価に関する研修を行い、スタッフが共通認識を持って業務に臨めるように努めることとする。

(2) 重点的に改善すべき項目に関する現状および改善目標（丸数字は質問番号）

⑩ 標準化されたアセスメントツールの使用

【現状】

今年度は、当事業所の利用者の課題を評価するアセスメントツールを作成して使用している。

【改善目標】

スタッフにより評価のずれが目立つことや、評価が難しいと感じられる項目もあるため、評価項目および評価方法を再検討して改善を図る。

⑭ 保護者の対応力向上のための支援

【現状】

支援計画見直しの面談時や、保護者から相談があった際には随時相談支援を行っている。

【改善目標】

個別の支援は行っているが、質問項目にあるペアレントトレーニング等の保護者全員を対象とした支援や勉強の機会は設けていない。通常サービス提供に加えて対応力向上のための支援を提供することは難しい課題ではあるが、連絡帳のデジタル化によるアンケートの実施などを通して広く保護者の悩みを把握し、対応方法を発信することを検討する。

⑳ 各種マニュアルの整備と保護者への周知

【現状】

各種マニュアルについては開設時に準備した標準的なマニュアルを基本に、当事業所の現状に即した見直しを行っている。新型コロナ関連では、感染状況に応じて随時対策を見直して保護者に周知を行った。

【改善目標】

現状に即したマニュアルを策定し、その内容を保護者に周知する。

㉑ 保護者同士の連携の支援

㉒ 苦情対応の体制整備および周知

㉓ 子ども・保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている(17,2,0)

㉔ 非常災害の発生に備えた訓練

【現状と改善目標】

2(1)⑩、⑪、⑫、⑬参照のこと。

(3) 現在当事業所では該当者がいないため改善の必要がないと判断した項目

① 医療的ケアが必要な子どもと主治医等との連携

① 卒業後の障害福祉サービス事業所への移行時の情報提供

以上

保護者等向け	放課後等デイサービス評価表 集計結果
--------	--------------------

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	6	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	10	2	わからない
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	0	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	1	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	12	6	コロナ禍の状態では、難しいと思う。 わからない
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1	0	学校でおきたトラブルなどにも相談ののつてくれ保護者のことも支えてくれている
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2	0	未回答1
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	5	0	わからない
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	0	0	

	14	個人情報に十分注意しているか	19	0	0	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	1	0	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3	0	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	3	0	時に、他のお子さんとのトラブル？を思い出したり、やりたい事ではないからマンガを読んでいたという発言もあります。行ったら行ったでリラックスしているようにも思えるのですが。
	18	事業所の支援に満足しているか	18	1	0	長期の休みの時などイベントをたくさん考えてくれていて子どものことよく考えてくれていることが伝わってくる。とても満足している

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

・調査期間: 2022年1月21日～3月1日

・配布数: 21人

・回収数: 19人(回収率90.5%)

・自己評価結果公表URL: <https://alternaways.com/about.html>(「オルタナプレイス紹介」ページ下部をご覧ください。)

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1	事業所の都合上、階段がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	0	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	3	2	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	スタッフが研修を担当し支援に必要な知識や事例検討等行っている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	今後、内容を更に検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	0	送迎時間との兼ね合いでできるときはしている。翌朝には必ずしている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2	0	保護者を通じて行っている 通級の先生とは共有している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	2	対象となる利用者がいない 該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	1	今のところ対象となる利用者がいない 該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	0	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	年4回発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	1	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	改定の必要あり
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	